



特定非営利活動法人日本防災士会 富山県支部

# 富山県防災士会会報

第9号

平成26年6月28日  
発行 富山県防災士会  
連絡先 090-5173-7430  
(事務局：黒畑)

## 平成26年度通常総会 会員が100名に さらに信頼される組織を目指す

平成26年度通常総会は3月22日、ウイングウイング高岡に於いて開催された。

小杉邦夫会長は「当会の会員が100名となった。志を同じくする防災士が増えて嬉しい。行政からの情報提供や依頼、要請が増えてきており、当会が信頼され、必要とされてきていると感じる。また昨年11月には北信越連絡協議会が設立され、広域連携の動きが具体的にってきている」と挨拶された。



挨拶をする  
小杉会長

審議の結果、すべての議案が提案通り承認された。

役員では黒畑喜昭事務局長と大坪清治事務局次長が副会長兼任となり、新理事として野田隆志氏、堀内昌樹氏が就任した。更に、富山大学大学院教授 竹内 章先生に本会の顧問を委嘱した。

## 特別講演 知られざるもうひとつの立山 『あばれ常願寺川・災害との闘い』



今井清隆氏

平成26年度通常総会に先立ち、立山カルデラに関する特別講演があった。講師は立山カルデラ砂防博物館館長（講演当時）の今井清隆氏。今井館長には昨年10月に開催された本会の防災施設の現地見学会でも、砂防博物館内の案内や講演をしていただいている。

3月末に退職されるとのことで、現職として最後の講演であった。「先人たちは水と闘って、今日の豊かなふるさと富山を作ってきた。災害と闘ってきた歴史を後世へ伝えていかなければならない」「常願寺川に関する災害履歴、貴重な立山カルデラ災害対策などの詳細資料は立山カルデラ砂防博物館に展示してあるので、是非見学して欲しい」「感受性豊かな小学生への教育を特に重視している」ことを強調された。

## 日本防災士会 北信越支部連絡協議会

### 金沢でスキルアップ研修会を開催

6月14日、金沢市松ヶ枝福祉館において、北信越地区では初めて、日本防災士会のスキルアップ研修会が開催された。富山県支部からは小杉支部長が『自主防災会の活動について～地域防災力向上に向けて～』と題して講演。この他、日本防災士会橋本事務統括、別府総務委員長、石川県支部大月副支部長の講演があった。

## 2年連続採択決定 富山市公募提案型協働事業

本会は昨年、富山市に対して「災害に強いまちづくり」を提案し「防災・減災社会づくり～防災意識の啓発と家具の固定について」のテーマで、富山市内3地区自主防災会（852世帯）を対象に市民防災意識調査を行った。

1回目の調査では該当地区の実態把握を行い、各地区の課題掘り起こし、その課題に向けた取り組みを提案してきた。

更に半年後に2回目の検証を行った結果、7%の世帯がこの機会に家具の転倒防止対策を実施し、住宅用火災警報器の設置率は10ポイント上昇して84%になった。また避難所への認知度については8ポイント増えて80%となり一定の成果が見られた。

一方、3小学校では「地震に備えて～今できること」のテーマで防災教室を行い、その後の意識調査によれば、親子で様々な防災対策の取り組みが行われ、66%の家庭で防災についての話し合いが持たれるなど、我が家の防災自慢には沢山の取り組みが上げられた。

2年目の今年度は富山市蜷川地区の4町内の自主防災会（1419世帯）を対象に行い、高齢者世帯の家具の転倒防止対策を課題として取り組む予定である。

また、他の地区・市町村への普及をどう図るかについても検討を進めたい。

## 日本防災士会総会に参加して

### 防災士（富山市）佐藤則寿

NPO法人日本防災士会の平成26年度通常総会が6月7日、東京都（永田町）の全国町村会館ホールで開催され、総会に参加しました。翌日の特別研修会には、残念ながら都合がつかず参加できませんでした。



初めての総会出席で多少の緊張もありましたが、浦野理事長の開会挨拶、日本防災士機構の宮川理事長の来賓挨拶、さらに熱意のこもった議案審議と質疑応答の様子を目の当たりにし、本会の草創期を築いてこられた諸先輩の情熱を肌身で感じることができました。

また何より、先進的な支部の一つとして我が富山県支部が選ばれ、小杉会長が活動報告をされる姿を誇らしく思うと同時に、私自身が次の10年へ成長を期す有意義な誓いの場となりました。

新入会員  
自己紹介

防災フェスティバルで  
防災を楽しく演出

防災士(高岡市) 米沢 繁



去年漸く 60 歳になりました。自営業(呉服小売)の私には定年がありませんので、何か人生の変化点として最近話題の防災について取り組んでみようと思い立ちました。様々な防災研修を受けている中で私が面白いなと思った取り組み方がありました。それはNPO法人レスキュー・ストックヤード栗田暢之さんの防災運動会の話がきっかけで、ネットで調べていくうちに、「防災落語、防災クイズ、防災標語、防災川柳、防災ソング、防災ファッションショー、防災カルタ、防災カレー、防災饅頭、防災スイーツ、防災コント、・・・防災紙芝居など」防災に関連する色々なイベントを楽しく演出する、いわば防災フェスティバルというような「何でもかんでも防災づくめ」の方向で演出することでした。

私事ながら、13 年前に長男が海上保安大学校に入学。私は海上保安友の会・富山支部の設立に携わりました。海上保安庁と富山県防災士会との接点を探ろうと伏木海上保安部の幹部の方に相談をしているところです。

今、言えることは「海のもしものは、118 番!」ということ。海上や海岸、河口付近などで緊急時の連絡は 118 番へ電話してください。

出前講座勉強会 《事例報告》  
「減災絵本の読み聞かせ」

5月24日、サンシップとやまに於いて本年度第1回の出前講座勉強会を開催した。テーマは「減災絵本の読み聞かせ」、講師は大坪防災士と明地防災士。両防災士は射水市大島図書館の職員から技術指導を受けるなど入念な準備をした後、今年4月から射水市内の幼稚園・保育所を対象に減災絵本『リオン』(宮城県支部が企画制作)の読み聞かせに取り組んでいる。



石黒、笹川両防災士も協力して、減災絵本の読み聞かせを実施(4月18日、射水市立大島南部保育所にて)

今回の勉強会では、事前準備の方法、案内状の作成、読み聞かせ時のテクニック、終了後のアンケート、今後の課題等について具体的に学ぶことができた。

質疑応答の中で、幼稚園や保育所を訪問した時には、施設の防災上の問題点についても話し合っただろうかという提案もあった。

《応急担架の事例》6月8日、東京都(八重洲)で日本防災士会の特別研修会が開催された。「身近な防災教材・資機材を活用した防災啓発活動」(講師:川崎隆克研修委員長)では、写真の様に椅子と2本の棒を使って怪我人を搬送する方法等、多くの事例が紹介された。



26年度 富山県市町村総合防災訓練日程

各会場 10 名以上(※印は 5 名以上)の参加を目指す。

月日(曜)	市町村	備考
7月27日(日)	上市町	南加積地区自主防災会
8月3日(日)	高岡市	東五位、能町、国吉、中田
8月24日(日)	砺波市	鷹栖(メイン)、五鹿屋、東野尻
8月31日(日)	南砺市	福光地区
9月7日(日)	富山県	黒部市・入善町・朝日町との合同訓練
	黒部市	黒部市総合公園周辺
	入善町※	黒東小学校周辺
	朝日町※	五箇庄コミュニティセンター周辺
9月13日(土)	南砺市	マーシー園 在宅障害者避難訓練
9月21日(日)	小矢部市	小矢部河川敷公園
9月27日(土)	富山市	富山市婦中スポーツクラブ
9月28日(日)	射水市	金山地区
9月28日(日)	魚津市	桃山運動公園
10月5日(日)	立山町	新川地区(立山北部小学校下)
11月2日(日)	滑川市	東部小学校校下
11月16・23日	氷見市	地区自主防災会

県民一斉防災訓練 “シェイクアウトとやま”  
に参加しましょう!

実施日時: 9月1日(月) 午前10:00

※防災週間の8月30日~9月5日に変更も可能  
訓練場所: それぞれの自宅・学校・職場など  
実施内容: 自分の身を守る「シェイクアウト訓練」  
問合せ先: 富山県防災・危機管理課

Tel: 076-444-3187 Fax: 076-432-0657

《シェイクアウト》  
身を守る3つの動作



出前講座勉強会 & 例会のご案内

- 実施日:平成26年7月26日(土) 15:00~19:10  
場 所:富山国際学園サテライト・オフィス(富山駅前 CiCビル 3F)
- 勉強会(15:00~16:00)、講師・野田防災士(医師)  
『医療の現場から見た大規模災害について』
  - 例会(16:00~17:00)、『防災落語』越中家 漫欽丹(落語家)
  - 懇親会(17:30~19:10)、会費 3,800 円  
・・・高志会館ビアガーデンにて・・・



お悔やみ:梶 政勝防災士(富山市)が4月15日、ご逝去されました。ご冥福をお祈り申し上げます。

《編集後記》6月20日に閣議決定された政府の2014年度防災白書では、東日本大震災を教訓に、住民が主体となって地域で救助、消火活動を行う防災力の向上と、町内会といった単位での「地区防災計画」の作成を呼び掛けている。自主防災会の構成員として、防災士は欠かせない存在になってくると思われる。(M)